

ITU-R SG 5  
第20回会合報告書  
(案)

2024年1月17日

日 本 代 表 団

## 1 会議の概要

ITU-R SG 5 は移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。

第 20 回会合は、2023 年 9 月 25、26 日にスイス・ジュネーブにて開催され（Web での参加も可）、40 か国の主管庁及びその他関連機関から 242 名が参加した。日本代表団としては表 1 に示す 20 名が出席した。

議長は Martin FENTON 氏（英国）であり、副議長は以下の 19 名である。

M. ABDELGHANY 氏（エジプト）、S. AL-BALOOSHI 氏（UAE）、Y. ALSHOUDOKHI 氏（サウジアラビア）、J. ANDRÉ 氏（フランス）、新 博行氏（日本）、A. S. CALINCIUC 氏（ルーマニア）、A. DARVISHI 氏（イラン）、O. JAMMELI 氏（チュニジア）、A. LATRACHE 氏（モロッコ）、H. MAZAR 氏（ATDI）、M. OMER 氏（スーダン）、A. PANDEY 氏（インド）、B. PATTEN 氏（米国）、J. P. R. LOPEZ 氏（メキシコ）、S. SHAVGULIDZE 氏（ジョージア）、A. SHURAKHOV 氏（ロシア）、J. Y. SONG 氏（韓国）、B. Z. TAH 氏（コートジボワール）、Y. WAN 氏（中国）

また、SG 5 は以下 4 つの作業部会（WP）から構成される。

WP	所掌	議長
WP 5A	30 MHz 以上の陸上移動業務（IMT を除く）； 固定業務における無線アクセスシステム； アマチュア及びアマチュア無線業務	José COSTA 氏（カナダ）
WP 5B	海上における遭難及び安全の世界的制度 （GMDSS）を含む海上移動業務；航空移動業務 及び無線測位業務	John METTROP 氏（英国）
WP 5C	固定無線システム；固定及び陸上移動業務 における 30 MHz 未満の HF システム	Pietro NAVA 氏（Huawei）
WP 5D	IMT システム	Stephen BLUST 氏（AT&T）

今回の会合においては、67 件の入力文書について審議を行った。

決議については、表 2 に示すとおり、1 件の改正案を採択し、RA における承認手続きに付すことが合意された。また、2 件の改正案には RA に情報としてのみ提出することとなった。

勧告案については、表 3 に示すとおり、16 件を会合で採択し、うち 2 件は RA における承認手続き、14 件は郵便による承認手続きにそれぞれ付すことが合意された。また、1 件を削除することで合意した。

研究課題案については、表 4 に示すとおり、12 件（うち 2 件は削除の提案）が採択された。

また、報告案については、表 4 に示すとおり、17 件（うち 4 件は削除の提案）が承認された。

入力文書一覧は巻末の表 5、勧告・研究課題文書の承認プロセスについては、巻末の図 1 のとおりである。

表1 SG 5会合出席者一覧

氏名	所属
吉積 義隆	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
重成 知弥	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
柴田 敏宏	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
和田 孝行	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
青野 海豊	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
佐伯 吉章	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
塚田 大貴	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
新 博行	株式会社 NTT ドコモ
本多 美雄	エリクソン・ジャパン株式会社
小山 敏	国立研究開発法人 情報通信研究機構
吉野 仁	ソフトバンク株式会社
西岡 誠治	一般社団法人 電波産業会
横山 隆裕	一般社団法人 電波産業会
加藤 康博	一般社団法人 電波産業会
佐藤 拓也	一般社団法人 電波産業会
大槻 信也	日本電信電話株式会社
宮寺 好男	日本無線株式会社
伊藤 信幸	日本無線株式会社
山崎 高日子	三菱電機株式会社
地引 史子	ワシントンコア L. L. C.

表 2 SG 5 会合での決議の採択状況

	採択		通常の決議廃止承認手続	解決を求めるため RA-23 で審議		WP への差戻し	
	新	改正		廃止	新	改正	新
WP 5A	0	1	0	0	0	0	0
WP 5B	0	0	0	0	0	0	0
WP 5C	0	0	0	0	0	0	0
WP 5D	0	0*	0	0	0***	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0
	1			0		0	

※内容には合意しているが、RAには情報としてのみ提出することになった決議改正案 1 件あり

\*\*\*内容に未解決の点があり、RA で審議することが提案されたが情報としてのみ提出することになった決議改正案 1 件あり

表 3 SG 5 会合での勧告の採択状況

	採択		郵便による採択・承認の同時手続		通常の郵便による採択手続		決議第 1-8 A2.6.2.5 に基づく編集上の修正が承認された勧告	通常の勧告廃止承認手続	解決を求めるため RA-23 で審議		WP への差戻し	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂			廃止	新	改訂	新
WP 5A	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
WP 5B	1	4*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WP 5C	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WP 5D	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	12	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	16		0		0				0		0	

※うち 2 件は無線通信規則に参照引用される (IBR) 勧告であるため RA での承認のための手続がとられる

表 4 SG 5 会合での研究課題の採択及び報告の承認状況

	採択した研究課題案				決議第 1-8 A2.5.2.4 に基 づく編集上の 修正が承認さ れた研究課題	承認された報告案		
	新	改訂	削除	WP へ 差戻し		新	改訂	削除
WP 5A	1	2	2	0	13	3	4	4
WP 5B	0	0	0	0	0	2	0	0
WP 5C	0	1	0	0	8	0	1	0
WP 5D	0	6	0	0	0	3	0	0
合計	1	9	2	0	21	8	5	4
	12					17		

## 2 審議の内容

### 2.1 オープニング関連

本 SG 5 会合のラポータは、前回に引き続き Robert Cooper 氏（英国）が務めることとなった。

前回 SG 5 会合のサマリーレコード（5/112）は特段の質疑、意見なく了知された。また、第 30 回 RAG 会合の報告（CA/267）についても特段の質疑、意見なく了知された。

### 2.2 WP 5A（IMT を除く陸上移動業務等）関連

#### (1) 概要報告

WP 5A 議長 José COSTA 氏（カナダ）から WP 5A の総括報告（5/173）の概要が説明された。SG 5 に提起する必要がある事項（特に ITU-R 報告 M. 2282-0 「航空機との公衆移動通信のためのシステム」改訂作業（5/151）及び ITU-R 新勧告[草案 M. [AS Guidance]（5/174））に関しては、後述のとおり各文書の審議時に報告された。

また、同氏は 2024 年 1 月に引退を予定しており、本会合が WP 5A 議長として参加する最後の SG 5 会合であることが述べられた。

#### (2) 決議

##### - 5/168 Draft revision of Resolution ITU-R 55-3

ITU-R 決議 55-3 「ITU-R における PPDR の検討」改正案（5/168）において、ロシア、イランから、ITU の各部門や事務総局、外部機関と協力するとの内容の resolves 2 は、現在も協力は行われており、また、事務総局と PPDR について協力すべき内容が不明であるとして、削除することが提案され合意した。

採択し、承認を目指して RA に提出することで合意した。

なお、WP 5A 議長から、ITU-R 勧告、研究課題、決議等の文書に ITU 全権委員会（PP）やほかの会議、総会等の出力文書への参照が含まれる場合、これらの会議が新しく行われる度に時点変更（ドバイ 2018→ブカレスト 2022 改、等）を繰り返さなければならない現在の慣行の改善の必要性が提起された。イランも SG 議長から RA に本件を提起することの必要性を強調し、SG 5 議長が承した。

### (3) 勧告<sup>1</sup>

#### <勧告改訂案>

- 5/128 Draft revision of Recommendation ITU-R M. 2121-0

ITU-R 勧告 M. 2121-0「移動業務における ITS 用周波数帯の調和」改訂案 (5/128) は、イランの意見で軽微な修正を行った上で採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

#### <勧告削除の提案>

- 5/138 Proposed suppression of 1 Recommendation and 4 Reports

勧告の削除及び報告の削除の提案 (5/138) において、ITU-R 勧告 M. 1075「陸上移動業務におけるリーキーフィーダーシステム」(5/138、1993 年承認) は、情報が古く不要であるという理由により削除が提案された。削除に特に質疑や意見なく合意し、郵便による承認を求めることで合意した。

### (4) 研究課題

#### <新研究課題案>

- 5/170 Draft new Question ITU-R [FUTURE-ITS-CAV]/5

ITU-R 新研究課題[FUTURE-ITS-CAV]/5「CAV 及び将来のアプリケーションを含む ITS に関する研究」案 (5/170) については、ロシアの意見で、本研究課題につき UNECE Working Party 29 に知らせるべきとの脚注の意図が不明確であるとして削除された。

そのほか特に質疑や意見なく採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

#### <研究課題の改訂案>

- 5/175 Draft revision of Question ITU-R 209-6/5

ITU-R 研究課題 209-6/5「災害時無線通信の支援における移動、アマチュア、アマチュア衛星業務の利用」の改訂案 (5/175) は特に質疑や意見なく採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

- 5/176 Draft revision of Question ITU-R 256-1/5

ITU-R 研究課題 256-1/5「275-1 000 GHz 帯における陸上移動業務の技術・運用特性」改訂案 (5/176) は特に質疑や意見なく採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

---

<sup>1</sup> なお、本会合において採択された勧告案については、全て知的財産権 (intellectual property rights: IPR) 上の懸念はないことが確認された。

<研究課題の削除の提案>

- 5/177 Draft revisions on the Questions assigned to Working Party 5A

WP 5A に割り当てられた研究課題の改訂案 (5/177) に含まれる以下 2 件の研究課題の削除に異議なく合意し、郵便による承認を求めることで合意した。

研究課題番号	標題
205-6/5	高度道路交通システム (ITS)
261/5	コネクテッド自動運転車 (CAV) 向けの無線通信の要件

<研究課題のエディトリアルな改訂案><sup>2</sup>

- 5/177 Draft revisions on the Questions assigned to Working Party 5A

WP 5A に割り当てられた研究課題の改訂案 (5/177) に含まれる以下 13 件の研究課題のエディトリアルな改訂に合意した。変更点はいずれも、最後に入力文書が提出された年の更新と、完成目標年の 2023 年から 2027 年への変更である。

研究課題番号	標題
1-6/5	陸上移動業務に必要な干渉保護比及び最小電界強度
7-7/5	30-6 000MHz の陸上移動業務の機器の特性
37-6/5	特殊利用のためのデジタル陸上移動システム
48-7/5	アマチュア業務及びアマチュア衛星業務における技術及び周波数の利用
101-5/5	陸上移動業務におけるサービス品質の要求条件
212-4/5	無線 LAN を含むノマディック無線アクセスシステム
215-4/5	固定及び/若しくは陸上移動業務における固定無線アクセスシステムの周波数帯域、技術特性及び運用要件
238-3/5	移動広域無線アクセスシステム
241-4/5	移動業務におけるコグニティブ無線システム
242-2/5	共用検討に用いられる固定及び移動業務の無指向性及び扇形アンテナの標準輻射パターン
250-1/5	陸上移動業務における広域エリアを対象とした多数のユビキタスセンサ及び/若しくはアクチュエータ並びに M2M 通信に通信を提供する移動無線アクセスシステム
254/5	補聴システム援助のための短距離公衆無線アクセスシステムの運用
263/5	列車・線路沿線間の鉄道無線通信システム (RSTT) のさらなる開発に関する研究

(5) 報告

<新報告案>

- 5/166 Draft new Report ITU-R M. [AMATEUR CHARACTERISTICS]

ITU-R 新報告案 M. [AMATEUR CHARACTERISTICS] 「1 240-1 300MHz 帯におけ

<sup>2</sup> 研究課題のエディトリアルな改訂は、SG 会合に参加する全ての加盟国の合意により、SG レベルで行うことができる (ITU-R 決議 1-8 A2.5.2.4)。



るアマチュア及びアマチュア衛星業務の特性と利用」(5/166)は、特に質疑や意見なく承認された。

- 5/169 Draft new Report ITU-R M. [UTILITIES]

ITU-R 新報告案 M. [Utilities] 「陸上移動業務における公益事業無線通信システム」(5/169)は、utility radiocommunication system というシステムは存在しないというイランの意見により、文書内の utility radiocommunication system の記載を全て utility radiocommunication と変更することで合意し、承認された。

- 5/172 Draft new Report ITU-R M. [CAV]

ITU-R 新報告案 M. [CAV] 「コネクテッド自動運転車」(5/172)は、特に質疑や意見なく承認された。

なお、本新報告案は上記にて削除が合意された ITU-R 研究課題 261/5 に基づき作成されたもので、同研究課題の完了を示すものであること、上記の CAV 新研究課題は CAV の次の段階を扱うことを意図したものであるとの説明があった。

#### <報告改訂案>

- 5/127 Draft revision of Report ITU-R M. 2444-0

ITU-R 報告 2444-0 「移動業務における ITS 展開のためのアレンジメント例」改訂案 (5/127) は、特に質疑や意見なく承認された。

- 5/129 Draft revision of Report ITU-R M. 2479-0

ITU-R 報告 M. 2479-0 「機械型通信のための陸上移動システムの使用」改訂案 (5/129) は、特に質疑や意見なく承認された。

- 5/167 Draft revision of Report ITU-R M. 2377-1

ITU-R 報告 M. 2377-1 「PPDR の無線通信の目的及び要件」の改訂案 (5/167) は、特に質疑や意見なく承認された。

- 5/171 Draft revision of Report ITU-R M. 2415-0

ITU-R 報告 M. 2415-0 「PPDR のための周波数要件」の改訂案 (5/171) は、特に質疑や意見なく承認された。

#### <報告削除の提案>

- 5/138 Proposed suppression of 1 Recommendation and 4 Reports

勧告の削除及び報告の削除の提案 (5/138) に含まれる以下 4 件の報告の削除が承認された。

文書番号 (5/)	報告番号	承認年	標題
127	ITU-R 報告	1990	「陸上移動業務における 25~1 000 MHz の機器の特性と周波

	M. 319-7		数チャネルの割当てを管理する原則」
129	ITU-R 報告 M. 902-1	1990	「陸上移動業務におけるリーキーフィーダーシステム」
167	ITU-R 報告 M. 904-2	1990	「陸上移動業務における自動位置決定と誘導」の改訂案
171	ITU-R 報告 M. 1021-0	1986	「陸上移動業務におけるデジタル送信のための機器の特性」

## (6) その他

- 5/151 Request for guidance to progress the work on the draft revision of Report ITU-R M. 2282-0 – Systems for public mobile communications with aircraft

ITU-R 報告 M. 2282-0「航空機との公衆移動通信のためのシステム」改訂作業を進めるためのガイダンスの要請（5/151）にあるとおり、2023年5月の会合において、WP 5A で作成していた作業文書の持ち越しに反対があり作業が進められなくなったため、航空機との公衆移動通信に関する作業が WP 5A で続いている背景を説明した上で SG 5 のガイダンスを求めている旨が説明された。

当該 WP 5A 会合にて本作業の継続に反対を示したイランが、航空機向けインターネット接続サービスについては既に衛星通信など様々な検討が行われているとして、本作業は不要との主張を継続した。Inmarsat、ドイツ、米国等が本件で扱われているシステムは陸上移動業務で運用されるものであり、内容が古く改訂は有用であると説明したがイランが合意しなかった。また、ロシアは WP 5B で扱うべきとの見解を示した。

SG5 議長からは、関係者が協議することを提案する以外には、ガイダンスは与えられないとの結論が述べられ、次回 WP 5A 会合にて関係者がオフライン議論を行うことが奨励された。

## 2.3 WP 5B（海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務）関連

### (1) 概要報告

WP 5B 議長 John METTROP 氏（英国）から WP 5B の総括報告（5/161）の概要が説明された。また、WP 5B 内で必要なワーキンググループ、サブワーキンググループ等の新議長への立候補者が足りないことが懸念であると報告された。

今研究会期で WP 5B 議長職を退任する Mettrop 氏の考察（WP 5B の総括報告（161）、セクション 8）も紹介された。特に、文書作成の水準（スタイル、文章作法の観点から）が落ちていること、WP 5B だけでなくほかのグループにおいても、意思決定が技術的、事実に基づく観点からでなく政治的、商業的動機に基づいて行われる傾向がみられることに注意が促された。参加者間の態度に信頼や敬意が欠け、これらの結果として ITU 会合に参加する価値が薄れ、ITU の存在意義が薄れているとの遺憾も示された。

## (2) 勧告

### <新勧告案>

- 5/152 Draft new Recommendation ITU-R M. [RAD 92-100 GHz]

ITU-R 新勧告案 ITU-R M. [RAD 92-100 GHz] 「92-100 GHz 帯で運用される無線測位システム及び 95-100 GHz 帯で運用される無線航行システムの技術・運用特性」(5/152) について、ロシアから、前回 SG5 会合において、保護干渉基準 I/N -6dB について同国が時間率を考慮した検討が必要として合意せず、WP 5B に差し戻した件であるが、この点が反映されていないとの発言があった。WP 5B 議長の説明により、サブワーキンググループにてロシアも参加の上で解決済みであることが確認された。

採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

### <勧告改訂案>

- 5/155R1 Draft revision of Recommendation ITU-R M. 493-15

ITU-R 勧告 M. 493-15 「海上移動業務で用いるデジタル選択呼出システム」改訂案 (5/155R1) は特に質疑や意見なく採択し、郵便での承認を求めることで合意した。

- 5/156 Draft revision of Recommendation ITU-R M. 541-10

ITU-R 勧告 M. 541-10 「海上移動業務で用いるデジタル選択呼出装置の運用手順」改訂案 (5/156) は特に質疑や意見なく採択した。本勧告は参照により RR に引用された IBR (incorporated by reference) 勧告であるため承認を目指し RA に提出することで合意した。

- 5/157 Draft revision of Recommendation ITU-R M. 1171-0

ITU-R 勧告 M. 1171-0 「海上移動業務における一般呼出のための無線電話手順」改訂案 (5/157) は特に質疑や意見なく採択した。本勧告も IBR 勧告であるため承認を目指し RA に提出することで合意した。

- 5/158 Draft revision of Recommendation ITU-R M. 1851-1

ITU-R 勧告 M. 1851-1 「干渉解析に用いる無線測位レーダーシステムのアンテナパターンの数学モデル」改訂案 (5/158) は特に質疑や意見なく採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

## (3) 報告

### <新報告案>

- 5/159 Draft new Report ITU-R M. [DIGITAL-VOICE]

ITU-R 新報告案 M. [DIGITAL-VOICE] 「VHF 海上バンドにおけるデジタル音声通信」(5/159) は特に質疑や意見なく承認された。

- 5/160 Draft new Report ITU-R M. [ACS]

ITU-R 新報告案 M. [ACS] 「MF 及び HF 帯におけるデジタル選択呼出通信を用いた自動回線接続システムのための船舶及び海岸局における運用手順」(5/160) は特に質疑や意見なく承認された。

## 2.4 WP 5C (固定業務及び短波帯の固定・陸上移動業務) 関連

### (1) 概要報告

WP 5C 議長 Pietro NAVA 氏 (Huawei) から WP 5C の総括報告 (5/121) の概要が説明された。特に 90-175 GHz 帯に関する 3 件の新勧告作成作業、ITU-R 勧告 F. 758-7 「固定業務のデジタル固定無線システムと他業務のシステム及びその他の干渉源の共用もしくは両立性のためのシステムパラメータ及び基準の検討」及び ITU-R 勧告 F. 699-8 「100 MHz から 86 GHz における調整研究と干渉評価のための固定無線システム用アンテナ参照放射パターン」を含む作業中の項目に関し、多くが草案のステータスにあり、次研究会期の前半に完成できる可能性があること、同氏が WP 5C 議長職を退任するため、次期 WP 5C 議長職への立候補者が必要であることが述べられた。

### (2) 勧告

#### <勧告改訂案>

- 5/124 Draft revision of Recommendation ITU-R F. 1568-1

ITU-R 勧告 F. 1568-1 「10.15-10.3/10.5-10.65 GHz 帯におけるチャネル配列」改訂案 (5/124) は特に意見や質疑なく採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

- 5/126 Draft revision of Recommendation ITU-R F. 746-10

ITU-R 勧告 F. 746-10 「固定業務のためのチャネル配列」改訂案 (5/126) は特に意見や質疑なく採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

#### <勧告削除の提案>

- 5/121 Executive Report from Working Party 5C (3.1.3 Suppression of Recommendations)

WP 5C の総括報告 (5/121) にあるとおり、ITU-R 勧告 F. 2004-0 「92-95GHz で運用される固定業務システムのためのチャネル配列」は、勧告として使用されていないとみられること、また、同勧告がカバーする周波数範囲は作成中の 92-175 GHz 帯に関する新勧告草案 F. [W-band] に含まれているこ

とから削除が提案された。

これに対し、イラン及び ATDI が新勧告の承認前に削除を行うことに反対し、削除しないことで合意した。

### (3) 研究課題

#### <研究課題の改訂案>

- 5/123 Draft revision of Question ITU-R 257-1/5

ITU-R 研究課題 257-1/5 (275-1 000 GHz 帯で運用される固定業務局の技術・運用特性) 改訂案 (5/123) については、イランから、一カ国 (日本) の考えでむやみに周波数範囲を拡大すべきでなく、450 GHz 以上の検討を扱うことに疑念があるとして、considering f) (275-1 000 GHz 帯の受動業務による利用は、能動業務による同周波数帯の利用を排除するものではない) を削除することが提案された。これに対し、ATDI から同記載は本改訂案において追記されたものではなく元の研究課題に含まれていたこと、450 GHz 帯以上の検討は日本だけが推進しているものではないこと、NICT から 450 GHz までは WRC-19 で能動業務特定されたので、固定業務アプリケーション向けに本研究課題に基づき新たな周波数帯を検討していることなどが説明された。

しかし、イランが considering f) 削除の主張を継続したため、同記載を削除して採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

#### <研究課題のエディトリアルな改訂案>

- 5/122 Status of the Questions within Working Party 5C

WP 5C の研究課題のステータス (5/122) に含まれる以下 8 件の研究課題のエディトリアルな改訂が合意された。変更点は完成目標年の 2023 年から 2027 年への変更、参照している WRC 決議の時点変更等である。

研究課題番号	標題
110-3/5	共用検討に用いられるポイント・ツー・ポイント方式の固定無線システムアンテナの標準輻射パターン
242-2/5	共用検討に用いられる固定及び移動業務の無指向性及び扇形アンテナの標準輻射パターン
246-1	適応型 HF システムのための技術的特性及びチャネル要件
247-1	固定無線システムの周波数配置
248-0	災害の緩和及び救助のために用いられる固定無線システムの技術・運用特性
252-0	固定業務及びその他の業務のシステム間における周波数共用と両立性
253-0	固定業務の利用と将来の傾向
258-0	HF 帯環境改善のための上空波通信局の技術・運用原理

### (4) 報告

## <報告改訂案>

- 5/125 Draft revision of Report ITU-R F. 2323-1

ITU-R 報告 F. 2323 - 1 「固定無線システムの利用と将来動向」改訂案 (5/125) については、上記のとおり ITU-R 勧告 F. 2004-0 を削除しないことで合意したことから、同勧告の削除が提案されていた箇所を削除なしの状態に修正して承認された。

## 2.5 WP 5D (IMT) 関連

### (1) 概要報告

WP 5D 議長 Stephen BLUST 氏 (AT&T) から WP 5D の総括報告 (5/163) の概要が説明された。特に今年の実績として新 IMT フレームワーク勧告案 (ITU-R 勧告 M. [IMT. FRAMEWORK 2030 AND BEYOND] 「2030 年以降の IMT の将来開発の全体目的と枠組み」) を仕上げ IMT-2030 のフレームワーク基盤を作成したとともに、今後このフレームワーク基盤の上に技術面の基盤に関する作業も ITU-R 決議 65 に基づき行う予定であることが述べられた。また、IMT-2030 に関し、ITU-T に対し ITU-R 側の活動について情報を提供する活動を行っている点も報告された。2030 年に向けての IMT-2030 タイムラインや 2027 年にかけての会合予定も示されたが、イランから、長期の将来にわたって会合日程を取り決め、ほかの会合との調整を難しくしていることに懸念が示された。

また、同氏は WP 5D 議長職を退任し、Kyu Jin WEE 氏 (韓国)、Hakan OHLSEN 氏 (Telefon AB - LM Ericsson) が副議長職を退任することが報告された。

### (2) 決議

- 5/141 Draft revision of Resolution ITU-R 56-2

ITU-R 決議 56-2 「IMT の名称」改正案 (5/141) については、イランから、RA の所掌である ITU-R 決議の改訂を SG から RA に指示することはできないとして、RA には情報として提出することが要求された。

これに対し、ITU-R 決議 1-8 A2.3.2 に SG が ITU-R 決議の改訂を採択することができるかと規定されていることや、SG から RA に多くの ITU-R 決議改訂案が提出されていることが指摘されたが、採択することに合意が得られず情報として RA に提出することとなった。

なお、新 ITU-R 勧告案 M. [IMT. FRAMEWORK 2030 AND BEYOND] 「2030 年以降の IMT の将来開発の全体目的と枠組み」に関し、同勧告案は当初枠組みでなく「vision」と称していたが、作成過程において「vision」の語を用いないこととしたので、ITU の vision に関する considering a) も削除する編集が行われた。

また、脚注において本決議について ITU-T 及び ITU-D に知らせるべきであると記載されていることに対し、米国からその重要性が指摘され、次研究会期には本件は ITU-R の所掌であることを明確にし、ITU-T による所掌範囲の侵食を防ぐ手段を講じるべきとの意見が述べられた。

- 5/142 Draft revision of Resolution ITU-R 65

ITU-R 決議 65 「IMT-2020[及び IMT-2030]の将来開発プロセスの原則」改正案 (142) については、WP 5D 議長から、多くの議論が行われたが未解決でありスクエアブラケットが付されている部分が数カ所あり、RA に提出したほうがよいとの考えが示された。上記 ITU-R 決議 56 と同じく情報として RA に提出することとなった。

(3) 勧告

<新勧告案>

- 5/131、TEMP/1 Draft new Recommendation ITU-R M. [IMT.FRAMEWORK FOR 2030 AND BEYOND]

新勧告案 ITU-R M. [IMT.FRAMEWORK 2030 AND BEYOND] 「2030 年以降の IMT の将来開発の全体目的と枠組み」については、WP 5D にて合意された新勧告案 (5/131) に対し、修正を提案するイランの入力文書 (162) を含む以下の入力文書が審議された。

文書番号 (5/)	提出元	概要、審議結果
143	WP 4B	主に新勧告案の完成を了知する内容の WP 4B からの返答リエゾン文書であり、SG5 から特段のアクションは必要ないことが確認された。
162	イラン	新勧告案 ITU-R M. [IMT.FRAMEWORK 2030 AND BEYOND] に対するイランからの修正提案。主に AI、robot/robotics、ubiquitous communication への言及を削除／削減することを提案。昨今の AI に対する懸念を反映することや、新技術に関し進みすぎた言及をしないことが意図。また、周波数に関する考察に関しても全て削除を提案。下記のとおり Ad Hoc グループにおける検討、編集を経て勧告案に反映された。
164	インド	WP 5D の出力文書としての勧告案 (5/131) の本会合での採択を支持するインドの入力文書。
165	複数国 <sup>3</sup>	17 の署名国により勧告案 (5/131) の本会合での採択を支持する入力文書。日本が紹介し、オーストラリアも WP 5D が出力した状態での勧告案の採択を支持したが、イランから、勧告の採択にはコンセンサスが必要であるという ITU-R 決議 1-8 の作業方法を無視し、圧力を用いて採択しようとする態度は許容できないとの発言があった。これに対し、米国、ロシア、メキシコ、韓国、日本が議論により問題を検討して合意形成した上で本会合にて勧告案を採択することを支持し、以下のとおり Ad Hoc グループにおける審議が行われた。

<sup>3</sup> ブラジル、カメルーン、カナダ、フィンランド、フランス、ドイツ、インド、日本、ケニア、韓国、ニュージーランド、ナイジェリア、南アフリカ、スウェーデン、英国、ベトナム、ジンバブエ

SG 5 プレナリーにおける上記入力文書の審議の後、HyoungJin CHOI 氏（韓国）を議長とする Ad Hoc グループにてイランの修正提案を検討し勧告案を編集する作業が行われ、合意案（TEMP/1）が作成された。主に編集された点は以下のとおりである。

#### <勧告タイトル及び本文>

本勧告のタイトルを「2030 年以降の IMT の将来開発の全体目的と枠組みについてのガイドライン」とするか

イランは勧告案のタイトルに「ガイドライン」の語を追加することを提案したが、ガイドラインの提案が目的ではないとしてカナダ等が反対した。韓国の提案に基づき、タイトルにはガイドラインの語を含めず、recommends において「the framework→the guiding framework」とするイランの提案を以下のとおり編集して反映することで合意した。

*recommends*

that the Annex should be considered as the framework and the overall objectives to guide the future development of IMT-2030

#### <Annex>

##### ①privacy の語を削除

Annex 2.1 Motivation and societal considerations のひとつとして記載されていた「Enhanced security, privacy and resilience」について、イランが privacy（個人情報保護）を提供できるシステムは存在しないとして削除し、stability に置き換えることを提案した。WP 5D 議長は enhanced security に privacy も含まれるので削除できるとし、stability も記載せず「Enhanced security and resilience」とすることで合意した。同様の考えから、その他の箇所に記載されていた privacy をすべて削除した。

##### ②AI に関する記述

AI に対する懸念が強まる中、人間による AI を規制、管理を強調すべきというイランの主張により、Annex において AI に言及する箇所には、イランの主張で、to the extent practicable, and proved demonstrated actionable management of artificial intelligence (AI) や applicable AI 等の限定詞を追加することとなった。

また、WP 5D 議長から、AI に関しては既に ITU で作業が行われていることを認識し、ITU 全体のガイダンスに参照するため 2022 年 ITU 全権委員会議（PP-22）において作成された PP 決議 214 「AI 技術と電気通信／ICT」を勧告本文の recognizing に引用することを提案した。しかし、本決議は今後改正され内容が変わり得るとしてイランが反対し、記載しないこととなった。

##### ③robot/robotics の記載

イランが削除を提案していた robot/robotics の記載については、WP 5D



議長及び Ad Hoc グループ議長の提案に基づき、robot は machine、robotics は machine interaction と修正された。

#### ④ ubiquitous connectivity に関する記述

イランは ubiquitous connectivity の記述が重複しているとして、2.2 User and application trends における 2.2.7 Ubiquitous connectivity は残し、3. Usage scenarios における Ubiquitous connectivity のセクションを削除することを提案した。これに対し、インド及びフランスが同 2 つのセクションの内容は違うとして修正の上で双方を維持することを主張したところ、イランは、下記の周波数帯に関する記述を削除するのであれば、双方を修正せずに残すことに合意するとした。結果として、同 2 つのセクションにおける ubiquitous connectivity に関する記述を維持し、周波数帯に関する記述は修正することで合意した。

#### ⑤ 周波数帯に関する記述

イランは 2.4 Studies on technical feasibility of IMT in bands above 100 GHz における特定の周波数帯に関する記述を削除し、2.5 Spectrum implications 下の内容も大幅に削除することを提案した。議論の結果、イランが削除を提案した一部のセクションや内容は編集して残すことに合意した。

以上のように編集した合意案 (TEMP/1) を SG 5 プレナリーにて採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

なお、ロシアから、SG 4 が完成版を確認していないことなどから郵便でなく RA での承認を目指すべきとの意見があったが、イランは SG 4 にとって問題となる変更は行っておらず、通常の郵便による承認を支持、米国、インドもこれを支持したため郵便による承認を求めることで合意した。

#### - 5/135 Draft new Recommendation ITU-R M. [FSS\_ES\_IMT\_26/42/47GHz]

ITU-R 新勧告案 M. [FSS\_ES\_IMT\_26/42/47GHz] 「24. 65-25. 25 GHz, 27-27. 5 GHz, 42. 5-43. 5 GHz, 47. 2-48. 2 GHz において運用される IMT への FSS 地球局からの同一帯域内干渉の抑制において主管庁を支援するガイドライン」(5/135) は特に意見や質疑なく採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

#### - 5/153 Part 1 Draft new Recommendation ITU-R M. [REC. MSS & IMT L-BAND COMPATIBILITY]

ITU-R 新勧告案 M. [REC. MSS & IMT L-BAND COMPATIBILITY] 「1 492-1 518 MHz 帯での IMT 導入を希望する主管庁のための、1 518-1 525 MHz 帯での MSS 運用に関し IMT と MSS の両立性を提供するための技術的、規制的措置」(5/153 Part 1) は、WP 4C と共同で 8 年かけて作成された勧告案であることが説明された。SG 4 では合意しており、同グループからのリエゾン文書 (153) によ

り、関連新報告案（153 Part 2）と共に SG5 での（採択）承認手続きが求められた。

特に意見や質疑なく採択し、郵便による承認を求めることで合意した。

なお、関連する下記の新報告案（153 Part 2）も共に承認され、WP 4C 議長（河合宣行氏）から、関係者への謝辞が述べられた。

#### <勧告改訂案>

- 5/132 Draft revision of Recommendation ITU-R M. 2150-1

ITU-R 勧告 M. 2150-1 「IMT-2020 の地上無線インターフェースの詳細仕様」改訂案（5/132）は特に質疑や意見なく採択し、郵便での承認を求めることで合意した。

- 5/133 Draft revision of Recommendation ITU-R M. 2012-5

ITU-R 勧告 M. 2012-5 「IMT-Advanced の地上無線インターフェースの詳細仕様」改訂案（5/133）は特に質疑や意見なく採択し、郵便での承認を求めることで合意した。

- 5/134 Draft revision of Recommendation ITU-R M. 1036-6

ITU-R 勧告 M. 1036-6 「無線通信規則において IMT 特定された周波数帯における、IMT 地上コンポーネントの実装に関する周波数アレンジメント」改訂案（5/134）は特に質疑や意見なく採択し、郵便での承認を求めることで合意した。

なお、本勧告について、これまでの改訂では SG において合意が得られず解決を求めるため RA に提出されていたが、今回は RA に提出する必要がないとして、RA の作業負担増加を避けるためにも通常の郵便による承認を求めることで合意した。

- 5/136 Draft revision of Recommendation ITU-R M. 2070-1

ITU-R 勧告 M. 2070-1 「IMT-Advanced の地上無線インタフェースを使用する基地局の不要輻射特性」改訂案（5/136）は特に質疑や意見なく採択し、郵便での承認を求めることで合意した。

- 5/137 Draft revision of Recommendation ITU-R M. 2071-1

ITU-R 勧告 M. 2071-1 「IMT-Advanced の地上無線インタフェースを使用する移動局の不要輻射特性」改訂案（5/137）は特に質疑や意見なく採択し、郵便での承認を求めることで合意した。

#### (4) 研究課題

##### <研究課題の改訂案>

- 5/145 Draft revision of Question ITU-R 209-6/5

- ITU-R 研究課題 209-6/5「災害時無線通信の支援における移動、アマチュア、アマチュア衛星業務の利用」の改訂案 (5/145) は特に質疑や意見なく採択し、郵便での承認を求めることで合意した。
- 5/146 Draft revision of Question ITU-R 241-4/5  
ITU-R 研究課題 241-4/5「移動業務におけるコグニティブ無線システム」改訂案 (5/146) は特に質疑や意見なく採択し、郵便での承認を求めることで合意した。
  - 5/147 Draft revision of Question ITU-R 242-2/5  
ITU-R 研究課題 242-2/5「共用検討時に用いられる、固定・移動業務で利用されるオムニ・セクターアンテナの参照放射パターン」改訂案 (5/147) は特に質疑や意見なく採択し、郵便での承認を求めることで合意した。
  - 5/148 Draft revision of Question ITU-R 229-5/5  
ITU-R 研究課題 229-5/5「IMT 地上コンポーネントのさらなる開発」改訂案 (5/148) については、イランの意見により、統計的数字（世界推定 20 億人が携帯電話サービスが利用できない場所に住んでいる）は不要として considering a) を削除した。  
修正の上採択し、郵便での承認を求めることで合意した。
  - 5/149 Draft revision of Question ITU-R 262/5  
ITU-R 研究課題 262/5「特定アプリケーションのための IMT システムの地上コンポーネントの利用」改訂案 (5/149) は、については、イランの意見により new、old といった語が不明確なので使用すべきでないとして considering c) の「new generation of」IMT... の表現を「further development of」に修正した。  
修正の上採択し、郵便での承認を求めることで合意した。
  - 5/150 Draft revision of Question ITU-R 77-8/5  
ITU-R 研究課題 77-8/5「IMT の開発と導入に関する途上国ニーズの考察」改訂案 (5/150) については、Inmarsat から、タイトルにおいて研究の対象を IMT の地上コンポーネントに限定する修正に対し、概観的な元のタイトル（地上コンポーネントへの限定なし）に戻すことが提案されたが、研究課題の対象を明確にする、地上コンポーネントによる課題への対応に焦点を当てる等の修正理由が米国、WP 5D 議長などから説明され、地上コンポーネントの語は維持することで合意した。そのほかイランとカナダのオフライン協議によりエディトリアルな修正が行われた。  
修正の上採択し、郵便での承認を求めることで合意した。

(5) 報告

<新報告案>

- 5/139 Draft new Report ITU-R M. [IMT. APPLICATIONS]

ITU-R 新報告案 M. [IMT. APPLICATIONS] 「IMT 地上コンポーネントの社会、産業、企業向け用途アプリケーション」(5/139) は特に質疑や意見なく承認された。

- 5/140 Draft new Report ITU-R M. [IMT. MULTIMEDIA]

ITU-R 新報告案 M. [IMT. MULTIMEDIA] 「マルチメディア通信のための IMT-2020 地上コンポーネントの能力」(5/140) については、イランから、「マルチメディア」に関し社会的に深刻な懸念があるとして、Scope の下に本報告の目的はいかなる加盟国の内政や主権に干渉するものではないとの Note を入れることが要請されたが、米国の意見で本件はマルチメディアコンテンツには関係ないとして、「マルチメディアのための IMT-2020 に関する本報告の目的は、マルチメディアコンテンツの配信のための側面を扱うことであり、ITU 憲章前文に完全に従うものである」と修正された。

また、ロシアの意見により、セクション 5 「IMT-2020 がサポートするマルチメディアコンテンツのためのアプリケーションの動向と需要」冒頭の文 (IMT-2020 は (中略) モバイル体験に革命をもたらすと期待されている) は、IMT-2020 は既の実現している上、スローガン/広告的な表現であるため不要であるとして削除された。

これらの修正を経て承認された。

- 5/153 Part 2 Draft new Report ITU-R M. [REP. MSS & IMT L-BAND COMPATIBILITY]

ITU-R 新報告案 M. [REP. MSS & IMT L-BAND COMPATIBILITY] 「1 518-1 525 MHz 帯の移動衛星業務システムに関する、1 492-1 518MHz 帯の移動業務 IMT システムの隣接帯域両立性検討」(5/153 Part 2) は、上記のとおり、WP 4C との共同作業で作成され SG 4 では合意しているものであり、特に質疑や意見なく承認された。

(6) その他

- 5/144 Review of existing ITU-R Resolutions, Opinion and Questions and development of new ITU-R Resolutions, Opinion and Questions on IMT

IMT に関する既存の ITU-R 決議、オピニオン、研究課題及び新 ITU-R 決議、オピニオン、研究課題のレビュー結果 (5/144) は特に質疑や意見なく了知された。

## 2.6 その他全体に関わる事項

### (1) SG 4 関連のリエゾン文書

以下の SG 4 関連のリエゾン文書は、既に上記にて対応済みであるため了知された。

文書番号 (5/)	提出元、 提出先	概要
114	SG 4 から SG 5	ITU-R 新勧告案 ITU-R M. [REC. MSS & IMT L-BAND COMPATIBILITY] 及び ITU-R 新報告案 ITU-R M. [REP. MSS & IMT L-BAND COMPATIBILITY] に関するリエゾン文書
116	WP 5D から SG 4	ITU-R 新勧告案 M. [FSS_ES_IMT_26/42/47GHz] の完成を連絡するリエゾン文書

### (2) ITU-R 新勧告草案 M. [AS Guidance] について (5A/173、174)

WP 5A の総括報告 (5/173) 及び ITU-R 新勧告草案 M. [AS Guidance] 「無線航行衛星業務 (宇宙から地球) 保護のための、アマチュア及びアマチュア衛星業務による 1 240-1 300 MHz の利用に関する技術的・運用的措置に関するガイド」に関する WP 5A 議長からの報告 (173、174) に記載されているとおり、WP 5A での審議段階では 3 つの Alternatives が残った状態で合意できていなかった。SG 5 会合期間中にフランス及び米国がそれぞれ新たな Alternative 案を提案し、オフライン議論が行われていたが、結論には至らなかったため、本件に関し SG 5 における正式な審議は行われなかった。

WP 5A 議長及び SG5 議長からは、同勧告案を RA に提出し、RA までに関係者間で解決策の検討を行うことが提案され、フランスも支持した。しかしロシアが SG 5 でも SG 4 でも合意していない文書であるとして RA へのいかなる形での提出にも反対したため、RA への提出についても合意にはいたらなかった。

### (3) ITU-T からのリエゾン文書

ITU-T からの以下 9 件のリエゾン文書は、全て SG 5 からの特段の応答は必要ないとして了知された。

文書番号 (5/)	提出元	概要
116	ITU-T SG 2 (運用側面)	ITU-T 研究課題 5/2 に関し、情報提供として、作業項目 M. rsmca 「セルアンテナのスマートメンテナンスの要件」を改訂したことを連絡するリエゾン文書。
114	ITU-T SG 11	ITU-T SG11 (信号要件、プロトコル、試験仕様、偽造品対策) から、情報提供として、新作業項目 Q. NCRP 「ネットワークリピータ用ネットワークコーディングプロトコル」の作業開始を連絡するリエゾン文書。
117	ITU-T SG 13 (将来のネットワークとエマージェンシーネットワ	ITU-T 研究課題 5/13 に関し、ITU-R SG 5 へは情報提供として (SG 4 にはアクション要求)、発展途上国の利益のための衛星通信に関する作業項目 Supplement ITU-T Y. Sat-Use-Cases 「発展途上国における衛星通信のユースケース」について連絡するもの。

	ーク技術)	
119	ITU-T SG 15 (トランスポート、アクセス、ホーム)	ITU-T 研究課題 1/15 に関し、ITU-R SG5 等にアクションを要求するリエゾン文書。ITU-T SG 15 で検討が進められているアクセス網 (ANT) 標準化活動に関し、ANT 標準概要と作業計画についてコメントを要請している。
120		ITU-T 研究課題 1/15 に関し、ITU-R SG5 等にアクションを要求するリエゾン文書。ITU-T SG 15 で検討が進められているホームネットワークトランスポート (HNT) 標準化活動に関し、ANT 標準概要と作業計画についてコメントを要請している。
118	JCA <sup>4</sup> -IMT2000	ITU-T の IMT-2020 and Beyond 調整グループ (JCA-IMT 2020) から、ITU-R SG5 等にアクションを要求するリエゾン文書。IMT-2020 and Beyond ロードマップの更新のための情報提供を要請している。
113	ITU-T TSAG	ITU-T TSAG から、情報提供として、メタバースに関する新フォーカスグループ (FG-MV) の設立を連絡するリエゾン文書。
115	ITU-T Focus Group on metaverse (FG-MV)	ITU-T のメタバースに関するフォーカスグループ (FG-MV) から、ITU-R SG5 等にアクションを要求するリエゾン文書。①2023 年 3 に開催された第 1 回会合の結果として作業トピックのリストを共有し、メタバースの標準化に関係するロードマップ、技術仕様、報告などの情報提供を要請②リエゾンレポートの指名を要請
154	ITU-T Focus Group on metaverse (FG-MV)	ITU-T のメタバースに関するフォーカスグループ (FG-MV) から、情報提供として、2023 年 7 月に開催された第 2 回会合の概要や最初の成果物 Technical Report D.WG1-01「メタバースの探究：機会と課題」が承認されたことについて連絡するもの

## 2.7 クロージング関連

SG5 議長から、数カ月前に副議長 Ashutosh PANDEY 氏 (インド) が職務変更のため副議長職を継続できないとの連絡があり、インドから後任の推薦があったと説明された。しかし、研究会期の終わりに近づいているため副議長による補佐が必要な作業はないので、次研究会期に向け検討することをインドに提案したことが報告された。

また、本研究会期で議長職を退任する SG 5 議長 Fenton 氏から、関係者への謝辞が述べられた。イランからは、常に冷静で感情的になることなく、外交的手腕にも長けた同氏に対し賛辞が贈られた。

## 3 今後の予定

以下の SG5、各 WP の暫定会合予定に対し、特に WP 5A~5C 会合について、イラン、ATDI、米国などから日数が多すぎるという意見が寄せられた。SG 5 議長から、WRC-23 の結果を受け、議題の作業量などに鑑み第 1 回 SG 5 にて検討することが説明された。

<sup>4</sup> Joint Coordination Activity

日付		会合日数	会合	開催地
2024年1月31日	2024年2月7日	6	WP 5D	ジュネーブ
	2024年5月13日	1	SG 5	t. b. d.
2024年5月14日	2024年5月24日	9	WP 5A	t. b. d.
2024年5月14日	2024年5月24日	9	WP 5B	t. b. d.
2024年5月14日	2024年5月23日	8	WP 5C	t. b. d.
2024年6月26日	2024年7月3日	6	WP 5D	t. b. d.
2024年10月2日	2024年10月9日	6	WP 5D	t. b. d.
2024年11月18日	2024年11月29日	10	WP 5A	t. b. d.
2024年11月18日	2024年11月29日	10	WP 5B	t. b. d.
2024年11月18日	2024年11月27日	8	WP 5C	t. b. d.
2024年12月2日	2024年12月3日	2	SG 5	t. b. d.

注：全てリモート参加可能な物理会合形式の予定

表 5 SG 5 入力文書一覧

文書 番号	提出元	タイトル
177	WP 5A	Draft revisions on the Questions assigned to Working Party 5A
176	WP 5A	Draft revision of Question ITU-R 256-1/5 - Technical and operational characteristics of the land mobile service in the frequency range 275-1 000 GHz
175	WP 5A	Draft revision of Question ITU-R 209-6/5 - Use of the mobile, amateur and the amateur-satellite services in support of disaster radiocommunications
174	Chair, WP 5A	Amateur service in frequency band 1 240-1 300 MHz and protection of RNSS
173	Chair, WP 5A	Executive Report of the twenty-ninth and thirtieth meetings of Working Party 5A
172	WP 5A	Draft new Report ITU-R M. [CAV] - Connected Automated Vehicles
171	WP 5A	Draft revision of Report ITU-R M. 2415-0 - Spectrum needs or Public Protection and Disaster Relief (PPDR)
170 (Re v. 1)	WP 5A	Draft new Question ITU-R [FUTURE-ITS-CAV]/5 - Studies related to Intelligent Transport Systems, including Connected Automated Vehicles and future applications
169	WP 5A	Draft new Report ITU-R M. [UTILITIES] - Utility radiocommunication systems operating in the land-mobile service
168	WP 5A	Draft revision of Resolution ITU-R 55-3 - ITU-R studies of disaster prediction, detection, mitigation and relief
167	WP 5A	Draft revision of Report ITU-R M. 2377-1 - Radiocommunication objectives and requirements for Public Protection and Disaster Relief
166	WP 5A	Draft new Report ITU-R M. [AMATEUR. CHARACTERISTICS] - Amateur and amateur-satellite services characteristics and usage in the 1 240-1 300 MHz frequency band



文書 番号	提出元	タイトル
165	Brazil, Cameroon, Canada, Finland, France, Germany, India, Japan, Kenya, Korea, New Zealand, Nigeria, South Africa, Sweden, United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, Viet Nam, Zimbabwe	Support of adoption of draft new Recommendation ITU-R M. [IMT. FRAMEWORK FOR 2030 AND BEYOND] -
164	India	Draft new Recommendation ITU-R M. [IMT. FRAMEWORK FOR 2030 AND BEYOND] -Framework and overall objectives of the future development of IMT for 2030 and beyond
163	Chair, WP 5D	Executive Report from Working Party 5D
162	Iran	Draft new Recommendation ITU-R M. [IMT. FRAMEWORK FOR 2030 AND BEYOND] - Guidelines on the framework and overall objectives of the future development of IMT for 2030 and beyond
161	Chair, WP 5B	Executive Report on the thirty first meeting of Working Party 5B
160	WP 5B	Draft new Report ITU-R M. [ACS] - Operational procedures for both ship and coast stations for automatic connection system using digital selective calling communications in the MF and HF bands
159	WP 5B	Draft new Report ITU-R M. [DIGITAL-VOICE] - Digital voice communication in the VHF maritime band
158	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 1851-1 - Mathematical models for radiodetermination radar systems antenna patterns for use in interference analyses
157 (Rev. 1)	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 1171-0 - Radiotelephony procedures in the maritime mobile service
156	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 541-10 - Operational procedures for the use of digital selective-calling equipment in the maritime mobile service

文書 番号	提出元	タイトル
155 (Rev .1)	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.493-15 - Digital selective-calling system for use in the maritime mobile service
154	ITU-T FG-MV	Liaison statement on results of the second meeting of the FG-MV and approval of its first deliverable
153	SG 4	Liaison statement to Study Group 5 (copy to Working Party 5D) - Adjacent band compatibility studies of IMT systems in the mobile service in the band 1 492-1 518 MHz with respect to systems in the mobile-satellite service in the frequency band 1 518-1 525 MHz
153 Part 1	WP 5D	Draft new Recommendation ITU-R M. [REC. MSS & IMT L-BAND COMPATIBILITY - Technical and regulatory measures to provide compatibility between IMT and MSS, with respect to MSS operations in the frequency band 1 518-1 525 MHz for administrations wishing to implement IMT in the frequency band 1 492-1 518 MHz
153 Part 2	WP 5D	Draft new Report ITU-R M. [REP. MSS & IMT L-BAND COMPATIBILITY] - Adjacent band compatibility studies of IMT systems in the mobile service in the band 1 492-1 518 MHz with respect to systems in the mobile-satellite service in the frequency band 1 518-1 525 MHz
152	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M. [RAD 92-100 GHz] - Technical and operational characteristics of radiolocation systems operating in the frequency range 92-100 GHz and radionavigation systems operating in the frequency range 95-100 GHz
151	Chair, WP 5A	Request for guidance to progress the work on the draft revision of Report ITU-R M.2282-0 - Systems for public mobile communications with aircraft
150 (Rev .1)	WP 5D	Draft revision of Question ITU-R 77-8/5 - Consideration of the needs of developing countries in the development and implementation of the terrestrial component of IMT
149 (Rev .1)	WP 5D	Draft revision of Question ITU-R 262/5 - Usage of the terrestrial component of IMT systems for specific applications
148 (Rev .1)	WP 5D	Draft revision of Question ITU-R 229-5/5 - Further development of the terrestrial component of IMT
147	WP 5D	Draft revision of Question ITU-R 242-2/5 - Reference radiation patterns of omnidirectional and sectoral antennas for the fixed and mobile services for use in sharing studies
146	WP 5D	Draft revision of Question ITU-R 241-4/5 - Cognitive radio systems in the mobile service
145	WP 5D	Draft revision of Question ITU-R 209-6/5 - Use of the mobile, amateur and the amateur-satellite services in support of disaster radiocommunications

文書 番号	提出元	タイトル
144	WP 5D	Review of existing ITU-R Resolutions, Opinion and Questions and development of new ITU-R Resolutions, Opinion and Questions on IMT
143	WP 4B	Reply liaison statement to Working Party 5D (copy to Study Group 5 for information only) on new Recommendation ITU-R M. [IMT.FRAMEWORK FOR 2030 AND BEYOND] – Framework and overall objectives of the future development of IMT for 2030 and beyond
142	WP 5D	Draft revision of Resolution ITU-R 65 – Principles for the process of future development of IMT-2020 and IMT-2030
141 (Rev. 1)	WP 5D	Draft revision of Resolution ITU-R 56 – Naming for International Mobile Telecommunications
140	WP 5D	Draft new Report ITU-R M. [IMT.MULTIMEDIA] – Capabilities of the terrestrial component of IMT-2020 for multimedia communications
139	WP 5D	Draft new Report ITU-R M. [IMT.APPLICATIONS] – Applications of the terrestrial component of IMT for specific societal, industrial and enterprise usages
138	WP 5A	Proposed suppression of 1 Recommendation and 4 Reports
137	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 2071-1 – Unwanted emission characteristics of mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-Advanced
136	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 2070-1 – Unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-Advanced
135	WP 5D	Draft new Recommendation ITU-R M. [FSS_ES_IMT_26/42/47GHz] – Guidelines to assist administrations to mitigate in-band interference from FSS earth stations operating in the frequency bands 24.65–25.25 GHz, 27–27.5 GHz, 42.5–43.5 GHz and 47.2–48.2 GHz into IMT stations
134	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 1036-6 – Frequency arrangements for implementation of the terrestrial component of International Mobile Telecommunications in the bands identified for IMT in the Radio Regulations
133	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 2012-5 – Detailed specifications of the terrestrial radio interfaces of International Mobile Telecommunications-Advanced (IMT-Advanced)
132	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 2150-1 – Detailed specifications of the terrestrial radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2020 (IMT-2020)

文書 番号	提出元	タイトル
131 (Rev .1)	WP 5D	Draft new Recommendation ITU-R M. [IMT.FRAMEWORK FOR 2030 AND BEYOND] – Framework and overall objectives of the future development of IMT for 2030 and beyond
130	WP 5D	Liaison statement to Working Party 4A (copy to Study Group 5) – Draft new Recommendation ITU-R M. [FSS_ES_IMT_26/42/47GHZ]
129	WP 5A	Draft revision of Report ITU-R M. 2479-0 – The use of land mobile systems, excluding IMT, for machine-type communications
128 (Rev .1)	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 2121-0 – Harmonization of frequency bands for Intelligent Transport Systems in the mobile service
127	WP 5A	Draft revision of Report ITU-R M. 2444-0 – Examples of arrangements for Intelligent Transport Systems deployments under the mobile service
126	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F. 746-10 – Radio-frequency arrangements for fixed service systems
125	WP 5C	Draft revision of Report ITU-R F. 2323-1 – Fixed service use and future trends
124	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F. 1568-1 – Radio-frequency block arrangements for fixed wireless access systems in the range 10.15-10.3/10.5-10.65 GHz
123 (Rev .1)	WP 5C	Draft revision of Question ITU-R 257-1/5 – Technical and operational characteristics of stations in the fixed service in the frequency range 275-1 000 GHz
122	WP 5C	Status of the Questions within Working Party 5C
121	Chair, WP 5C	Executive Report from Working Party 5C
120	ITU-T SG15	Liaison statement on the new version of the Home Network Transport (HNT) standards overview and work plan
119	ITU-T SG15	Liaison statement on the new version of the Access Network Transport (ANT) standards overview and work plan
118	JCA-IMT2020	Liaison statement on invitation to update the information in the IMT-2020 and beyond roadmap [to ITU Study Groups and external IMT-2020 liaison partners]
117	ITU-T SG13	Liaison statement on work item Supplement ITU-T Y.Sat-Use-Cases – Use cases of satellite communications in developing countries
116	ITU-T SG2	Liaison statement on work item M.RSMCA – Requirements or smart maintenance of cell antenna
115	ITU-T FG-MV	Liaison statement on requesting collaboration on metaverse standardization work

文書 番号	提出元	タイトル
114	ITU-T SG11	Liaison statement on new work item Q.NCRP - Network coding protocol for network repeaters
113	ITU-T TSAG	Liaison statement on new ITU-T Focus Group on Metaverse (FG-MV)

図1 勧告・研究課題文書の承認プロセス

